

神の実 - ガマズミ -

春に白い花を咲かせていた「ガマズミ」。日本の山地や山里に広く自生する日本固有の種類で、陶史の森でもあちこちに見られます。

9～10月には赤い実を付けます。ガマズミの実は一粒は小さいですが、濃紅色で華やかさがあって人目を引く美しさがあります。小さくはかなげな花や実も、集合（結合）することでかたくなな様子になるということから、花言葉は「結合」。他にも「私を無視しないで」「愛は強し」「恋の焦り」という花言葉が付けられました。

ガマズミのこの赤い実は、秋頃はまだ甘味が少なく渋みと酸味が強いので食べにくいですが、晩秋から初冬にかけては表面に白っぽい粉を吹いて甘くなり、そのまま食べられるようになります。その頃になるとメジロ、ツグミ、ヒヨドリなどの野鳥も集まります。

ガマズミの実には、ポリフェノールの一種であるアントシアニンが数種類含まれています。ポリフェノールには活性酸素など有害物質の働きを抑え、血液をサラサラにする効果があります。高血圧や動脈硬化などの生活習慣病の予防効果が期待できるそうです。また、他にもリンゴ酸やビタミンCなどの成分も含んでおり、そのまま食べるだけでなく、果実酒や漬け物の着色料としても利用されています。東北地方の狩人たちの間では、疲労回復のための「神の実」として古くから大切に扱われてきました。陶史の森の「神の実」も大切にしてください。

ガマズミの花



ガマズミの実



森の

日記

第2駐車場の ガードレールが完成しました

休日になると自家用車でいっぱいになる第2駐車場の転落防止用ガードレールが完成しました。高台にある第2駐車場の駐車スペースには車止めもありましたが、ガードレールの設置によって、今まで以上に安全に駐車していただけます。

駐車場にかかわらず、陶史の森園内では安全運転をお願いします。



教室のご案内

9月

●バードウォッチング（要申込 定員10人）

9月25日（日） 午前9時～11時
初秋の野鳥を観察します。※雨天中止

10月

●きのご教室（要申込 定員20人）

10月2日（日） 午前9時～11時
陶史の森に生えるきのごを観察します。

●秋の天体教室（要申込 定員20人）

10月15日（土） 午後7時～
秋の天体を観察します。（雨天中止）

●バードウォッチング（要申込 定員10人）

10月23日（日） 午前9時～11時
秋の野鳥を観察します。※雨天中止

※新型コロナウイルスの感染状況により中止になる場合があります。

陶史の森は自然環境保護地域です。動植物や石などは絶対に採らないでください。また、ペットの同伴はご遠慮ください。